

○大会成績一覧

・名古屋地区2部リーグB

第1節	v s 東海	3-2	○	
第2節	v s 向陽	1-1	△	
第3節	v s 名経大高蔵D	3-1	○	
第4節	v s 同朋Ⅲ	2-0	○	
第5節	v s 昭和	1-1	△	
第6節	v s 桜台	3-0	○	
第7節	v s 名古屋大谷	5-0	○	
第8節	v s 名古屋南	0-2	×	
第9節	v s 鳴海	2-0	○	3位/10チーム 地区1部昇格

・総体名北支部予選

1回戦 v s 春日井 0-1 × 1回戦敗退

・選手権名古屋地区予選

ブロック1回戦	v s 緑	5-1	○	
ブロック2回戦	v s 市立工業	3-0	○	
ブロック決勝	v s 愛知総合工科	0-2	×	ブロック決勝敗退

・新人戦名北支部予選

ブロック1回戦	v s 山田	1/7 (日)	11:30 KO	@市立北
ブロック2回戦	v s 中部大学春日丘	1/8 (月・祝)	13:00 KO	@中部大学春日丘

○主な活動の紹介

<夏季合宿>

7月23日から3泊4日で長野県白馬村にて合宿を行いました。この合宿の目的はサッカーに集中できる環境の中で、1か月後に控える選手権へ向けて、3年生が引退した新チームの団結を強めることです。

初日は東京都市大学塩尻高校と練習試合を行いました。一つ一つのプレーの強度や精度がとても高い相手で、学ぶことが多くありました。夜のミーティングではこの日の試合の映像を見て、「前線からのプレス」をテーマに相手校と自分たちを比較しながら分析を行いました。

2日目からは天然芝のグラウンドでトレーニングを行いました。昼食後のランメニューでは普段とは違う環境の中でしっかり追い込むことができました。その後の自主練習の時間には各々が課題としていることにみっちり取り組みました。夜のミーティングでは今のチーム運営の問題点を挙げ、この先どのように改善していくのか話し合いました。

3日目も一日中トレーニングを行いました。途中、トレーニングへの意識の甘さ、理解の乏しさを指摘されることもありましたが、最後のシュート練習ではチーム全体で盛り上げる声を出したり、考えを共有したりすることで、とても良い雰囲気の中でトレーニングをすることができました。合宿後の部活でもこの雰囲気を貫徹したいと思います。夕食後には2年生と1年生が今後どのように関わっていくのが良いか話し合いました。

最終日は身体に疲れが残る中でしたが、最初のブラジル体操から気合い入れてトレーニングに入りました。最後には40分の紅白戦を行いました。普段とは違うフォーメーションを試したり、初日のミーティングや2、3日目のゲーム形式のトレーニングで意識したことを取り入れて、プレーしました。

今年の合宿はチーム全員で最後までやり切ることができ、チームとしても個人としても大きく成長できたと思います。この経験を活かして今後のトレーニングに取り組み、良い結果を残せるよう努力していきたいです。

(2年選手)



<ボールパーソン>

8月13日(日)に豊田スタジアムで行われた名古屋グランパス v s 鹿島アントラーズの試合に、ボールパーソンとして参加しました。

プロの試合に仕事として関わることは、自分たちも大人として見られ、それ相応の対応が求められます。そのような体験を高校生のうちにやらせて頂けることに感謝しなければなりません。この活動の意義について、社会勉強としての側面もあると思いますが、それだけでなく、一番はプロの試合を間近で見ることができることです。パススピードやトラップの置きどころなどのボールコントロール、相手と体をぶつけあう強度など、間近で見ること自分達との違いを肌で感じることができました。自分たちもサッカーで勝ち負けを競う選手です。その中でプロの試合からより多くのことを得ることができました。この経験をチームに還元していきたいと思います。

僕たちがこの活動をするにあたって協力していただいた方々に、改めて感謝いたします。ありがとうございました。

(2年選手)



<選手権大会準決勝補助役員>

11月4日（日）にCS港サッカー場で行われた選手権大会準決勝の補助役員を行いました。主な活動は会場の準備・片付け、試合中のボールパーソンや担架、入場者の受付でした。

この補助役員ではいわゆる強豪校と言われるチームの雰囲気や試合への情熱、声の大きさや試合中のプレーの強度、技術の高さなど自分たちには足りないことがまだまだたくさんあると再確認させられました。自分たちもこのような場所で戦えるようになるために見習うべきところを見習い、成長していきたいです。また、試合を支えてくださる方々が多くいることも再確認でき、日頃から感謝の気持ちを持ってプレーしようと強く思いました。

（2年選手）

